

令和7年度 学校評価書(共通) 後期

校名 宇和島市立城南中学校

1 自己評価書

教育目標	自立と共生の力を持つ生徒の育成
基本方針	1 自主・自律の精神に富み、活気ある本校教育の伝統を継承し、主体的な教育活動の展開により、自信と誇りを持ち、可能性に挑戦する生徒の育成に努める。 2 保護者や地域社会と連携した生徒指導に努めると共に、時代の変化に対応できる確かな学力と豊かな感性を持ち、他者を尊重することのできる生徒の育成に努める。 3 地域と教育理念を共有し、12小学校区の人、こと、もの、情報を効果的に繋げ、地域と共にある学校を実現することで、郷土愛を持ち社会のために貢献できる生徒の育成に努める。
本年度重点目標	1 生徒会活動の活性化と生徒指導の充実 2 生きる力を育む学校の推進(知・徳・体の充実) 3 安全・安心な学校の推進 4 家庭・地域から信頼され誇りとされる学校の推進 5 働き方改革の推進

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	前期	前期	
確かな学力の定着と向上	① 全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	各調査の分析結果を基に、「身に付けさせたい力(学習の目標)」の明確化を図り、組織的に推進することができた。	・分析資料の作成	A	A	A		
			・具体的な対策の実施	A		A		
	② 授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業モデル「N見方・考え方を変える」を視点に授業改善に努めた。	・教師アンケート	A	A	A	A	
			・保護者アンケート	A		B		
		ねらいを明確にした分かる授業を行った。	・児童生徒アンケート	A	A	A	A	
			・教師アンケート	A		A		
	③ 家庭学習の充実	一人1台端末(iPad)やEILS(コンテンツバンク等)の活用により、個別最適な学びを推進したり学習内容の定着を図ったりした。	・教師アンケート	A	A	A	A	
			・保護者アンケート	A		B		
			・児童生徒アンケート	A		A		
	④ 読書活動の充実	家庭との協働により、授業と連動させた家庭学習の充実に努めた。	・教師アンケート	B	B	B	B	
			・保護者アンケート	B		B		
			・児童生徒アンケート	A		A		
	⑤ ふるさと学習及びESDの推進	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート	B	B	C	B	
			・保護者アンケート	A		A		
			・児童生徒アンケート	B		B		
		社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする児童生徒の育成に努めた。	・教師アンケート	A	A	B	A	
			・保護者アンケート	A		A		
			・児童生徒アンケート	A		A		
	<p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○通級担当者と情報交換や連絡を密にして実施できた。</li> <li>○ミニテスト、プリントを実施し、その単元で身に付けさせたいことの確認、定着につなげることができた。</li> <li>○対話を多く取り入れた授業展開を行った。多様な意見を引き出したり、批判的思考力の育成につながったと思う。</li> <li>○毎時間、授業の問いを設定し、学習内容を振り返らせる授業形態にすることで深い学びを実現させた。</li> <li>●ドリル型学習が不十分で、基礎学力が身に付いていない。</li> <li>●そこから新たな問いを考えさせ、解決させる展開にすることが課題だと考える。</li> <li>●時間をかけて個別対応をすると学習内容が身に付いたが、他の生徒に対応することができない。</li> </ul> <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器の活用と黒板やノートを使った学習活動との両輪で授業を進めることができた。</li> <li>・理解が十分ではない生徒に対して、定着させたい内容を繰り返しプリント等でさせたい。</li> <li>・小テストや課題の工夫が必要教科、道徳、学活(終わりの会含む)などを用いて、言葉を使って考えを深めたり、表現したりする機会を増やしたい。</li> </ul>							

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	前期	前期
生徒指導の充実	① 規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート	B	A	B	A
			・保護者アンケート	A		A	
			・児童生徒アンケート	A		A	
	② 児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。	・教師アンケート	A	A	A	A
			・保護者アンケート	A		B	
			・児童生徒アンケート	A		A	
		不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート	A	A	A	A
			・保護者アンケート	A		B	
			・児童生徒アンケート	A		A	
	いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速且つ適切な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート	A	A	A	B	
		・保護者アンケート	B		B		
		・児童生徒アンケート	A		B		
	③ 関係機関との連携	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、こども支援教室わかたけ等の積極的な活用を心掛けた。	・教師アンケート	A	A	A	A
			・保護者アンケート	A		A	
			・児童生徒アンケート	A		A	
	④ 自己肯定感 等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。	・教師アンケート	A	A	B	B
・児童生徒アンケート			A	A			
自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。		・教師アンケート	A	B			
		・児童生徒アンケート	A	B			
<p>(成果と課題)</p> <p>○生徒指導主事を中心として教職員が協力して生徒指導事案に対応している。  ○自分の気持ちを素直に話してくれる生徒が多く、話しやすい雰囲気づくりができた。  ○学年で支え合う生徒指導はできた。多くの生徒は規範意識が高まってきた。  ●特定の生徒やその周りの生徒については悪い方向へと流される傾向がある。</p>							
<p>(改善策等)</p> <p>・粘り強い声掛けや指導を通して生徒指導を行っている。  ・目立たない生徒、しんどい思いをしている生徒等の様子を見守る必要がある。  ・休み時間、昼休みの校内の見回りを意識していきたい。  ・保護者に協力してもらいたい面が多い。  ・自己肯定感を醸成する言葉掛けを意識的に行いたい。  ・家庭環境が心配な生徒に対しては積極的にスクールソーシャルワーカーなど外部の機関と連携を取り、福祉につなげたり、家庭訪問をしたりすることで登校を促す。</p>							

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	前期	前期
働き方改革	① ワーク・ライフ・バランス	時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指し、校内で設定した業務改善施策を基に、組織的な働き方改革に努めた。	・教師アンケート	B	A	B	B
			・「出勤・退庁調査」の分析と活用	A		B	
	② 働きやすい環境づくり	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。(枠を移動しました。)	・教師アンケート	A	A	A	A
			休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	A	A	B
③ 他の教職員のサポート体制の充実	教職員同士が仕事を手助けしたり、スクールサポートスタッフ、地域人材などを積極的に活用したりして、職場の仕事のサポート体制が充実した。	・教師アンケート	A	A	B	B	
<p>(成果と課題)</p> <p>○退校時間と勤務終了時間ができるだけ一致するよう努めた。  ○相談しやすい雰囲気が今後も続くといいなと思う。  ○業務改善を目指し、早めの事務処理等については後回しにせず早急に処理するように努めた。</p>							
<p>(改善策等)</p> <p>・在校時間と勤務終了時間ができるだけ一致するよう努めた。  ・時間の有効活用、意識して早く帰るようにしたい。</p>							
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	前期	前期
地域との連携	① 学校運営協議会の活性化	全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。 学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、熟議等の結果を基に、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート	B	A	B	B
			・教師アンケート	A		B	
			・保護者アンケート	A		B	
	② 情報発信	家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート	A	A	A	A
・保護者アンケート			A	A			
・地域アンケート			A	A			
③ 来校・相談体制	来客・電話対応を丁寧に行い、保護者や地域の方々の声をしっかりと聞くことで、来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート	A	A	A	A	
		・保護者アンケート	A		B		
		・地域アンケート	A		A		
<p>(成果と課題)</p> <p>○丁寧な対応や通信等を利用した情報発信に努めた。  ○職場体験学習において、地域の事業所が協力的で多くの場所で体験することができた。</p>							
<p>(改善策等)</p> <p>・丁寧な対応や通信等を利用した情報発信に努めた。</p>							

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満